

2 学部教育

(1) 教育組織と学科の教育目標

本学の経営情報学部は、経営学科、情報学科及び情報文化学科の3学科から構成されている。昭和63年の開学以来、社会科学系の学部として経営学、情報科学に関する諸科目を中心に教育課程を編成し、専門職業人の養成に努めてきたが、急速な社会変化と新しい変革の動きに対応できる経営情報学の新たな創造に向かって、平成8年に情報文化学科を新設し、マルチメディア関連技術の修得とその応用とともに、社会的・文化的認識を兼ね備えた人材の育成に努めている。

なお、各学科の教育目標は、以下のとおりである。

(経営学科)

組織経営を理解するための様々な知識を学び、経営的な視点と判断力を養う。あわせて、企業にとって必要かつ適切な経営情報を選択、理解、創造することのできる能力の涵養を目指す。

具体的には、(1)主体的に自分の頭で考え行動できる学生、(2)経営的、会計的な物の見方・考え方のできる学生、また(3)コンピュータを道具として使いこなせる学生、そして(4)英語に強い学生を育成することを教育の目標とし、経営情報を駆使しうる企業人、コンピュータマインドをもったゼネラリスト、スペシャリスト等の育成を人材養成の目標とする。

(情報学科)

コンピュータのソフトウェアを中心に情報処理の理論と技術について学び、情報の本質を見極める判断力と選択能力を養う。あわせて、経営学あるいは会計学の基礎知識を学び、情報処理技術の企業経営・管理への応用能力の涵養を目指す。

具体的には、情報処理技術者及びシステムアドミニストレータ等の資格試験合格者を増やし、企業内システム開発者や研究所研究員等を目指す学生の育成を教育の目標とし、経営に参画しうるシステムエンジニア、情報処理技術を身につけたエンドユーザ、セールスエンジニア、あるいはシステムエンジニア等の育成を人材養成の目標とする。

(情報文化学科)

既設の経営学科、情報学科が対象としてきた教育研究領域を視野に入れながら、近年進展しつつあるマルチメディア関連技術の修得と、それらの技術的進歩がもたらす社会的、文化的基盤の変容をグローバルな視点にたって理解・判断できる能力の育成を目指す。

具体的には、マルチメディア関連技術及びボーダーレス化社会の進展に即応できる能力の育成を教育の目標とし、マルチメディア表現技術を身につけた企業・組織体と社会とのコーディネータの育成を人材養成の目標とする。

(2) 学生の受入れ

a 学生募集活動

本学の教育目標を達成することのできる優秀な意欲ある人材、目的意識のしっかりした人材を全国から得るため、学生募集活動を行っている。具体的には、事務局入試・広報課が大学の教育研究内容を周知することを中心とした、広報活動を以下のように展開している。

- ① 受験生向け各種印刷物、パンフレット、大学案内、募集要項の作成及び資料請求者に対する送付
- ② 新聞社などが主催する全国各地で実施される進学相談会への参加（資料参加も含む）
- ③ 千葉県及び近隣の高校訪問の企画・運営
- ④ キャンパス見学会、大学内での進学相談会の企画・運営
- ⑤ 高校教諭・受験生・保護者（父母）など来学者に対する進学説明
- ⑥ 併設高等学校に対する進学説明会の企画・運営
- ⑦ 東京近郊の日本語学校訪問の企画・運営
- ⑧ 新聞による広報